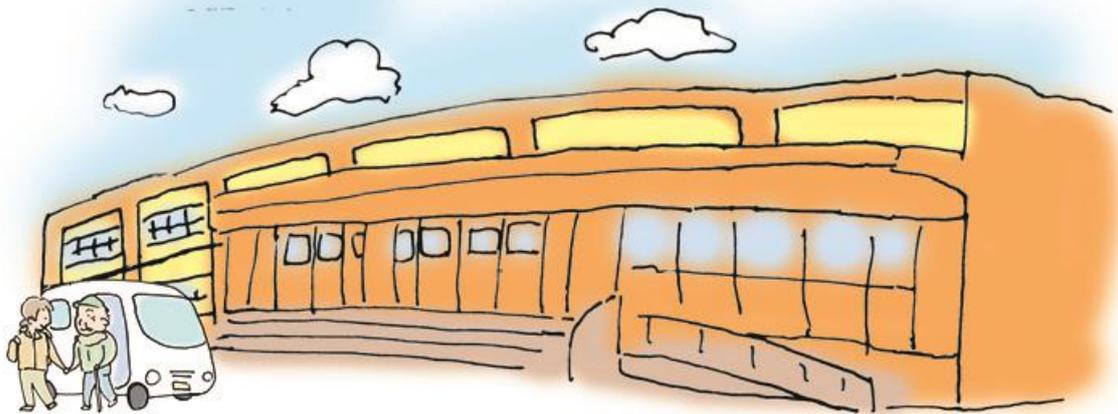


ともにご利用の方へのお願い

新型コロナウイルス等感染症対策について



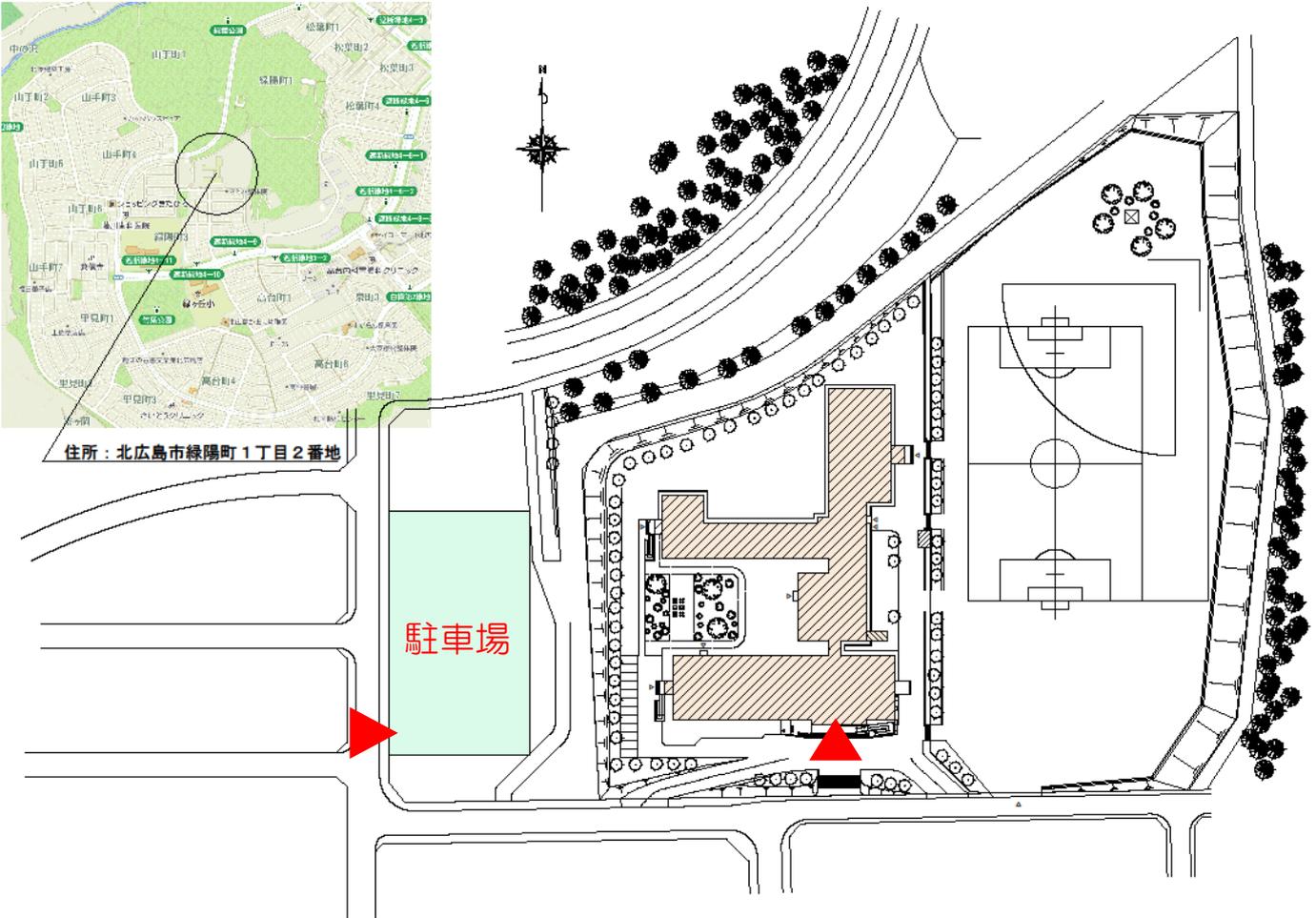
北広島団地地域サポートセンターともに

北広島市緑陽町 1 丁目 2 番地  
TEL 011-373-7007

# 付近見取り図

## ◆ 所在地 ◆

北広島団地地域サポートセンターとともに  
〒061-1137 北広島市緑陽町1丁目2番地  
TEL 011-373-7007 FAX 011-373-7227



※ 駐車場以外の場所への駐車はご遠慮ください。（お体の不自由な方、妊産婦の方等駐車場所に配慮が必要な方は、建物正面にある駐車スペースを活用ください）

# 配置図



## 利用人数の目安

おおむね 2mの間隔をあけて使用する（一人あたり 4 m<sup>2</sup>の間隔）

### ◆ 利用人数の目安 ◆

居室名（面積）	部屋数	目安人数	備考
活動室1（64.60 m <sup>2</sup> ）	1	16人	
活動室2（24.00 m <sup>2</sup> ）	1	6人	
活動室3（32.30 m <sup>2</sup> ）	1	8人	
活動室4（89.92 m <sup>2</sup> ）	1	22人	
活動室5（60.45 m <sup>2</sup> ）	1	15人	
体育館（486.00 m <sup>2</sup> ）	1	60人	激しい運動（8 m <sup>2</sup> 間隔）
		121人	その他研修等（4 m <sup>2</sup> 間隔）
ステージ（56.00 m <sup>2</sup> ）	1	14人	

玄関・ホール	滞在時間は概ね 30 分程度とします
廊下	とどまらずに速やかに移動してください
キッズコーナー	ご利用できません
喫茶コーナー	ご利用できません
宿泊	ご利用できません

## ◆ 利用のルール ◆

- 北海道スタイル（新しい生活様式）を実践します。
- 不測の事態に対応するために、参加者名簿を作成して提出してください。
- 「利用人数の目安」を超える人数での活動は控えてください。
- 参加者どうし一定の距離（2m程度）を確保してください。
- マスクを着用してください。（体育館で激しい運動をする場合を除きます）
- こまめに手洗い、うがい、手指消毒を行ってください。
- 自宅を出る際に体温測定してください。37℃以上ある方は入館できません。
- 2箇所以上の窓を開けて、定期的（30分を目安）に換気をしてください。
- 居室、体育館以外での飲食を禁止します。
- 玄関、ホール、廊下などの混雑を防止するために、分散した入退場にご協力ください。
- 廊下では会話をせず、とどまらず、速やかに移動してください。
- 裸足での利用はご遠慮ください。
- 居室、体育館はドアを閉めてご利用ください。
- トイレは清潔に使用してください。個室使用後は便座等アルコール消毒してください。
- マイクの使いまわしを避けてください。
- ご家族等の応援や送迎時の待機等、利用者本人以外の入館は控えてください。
- 利用者本人、及び同居のご家族において、過去14日以内に発熱や風邪症状などの新型コロナウイルス感染を疑う症状のあった方、当日体調不良の方、感染拡大地域や海外への訪問歴のあった方の入館はできません。
- 北広島市内で新型コロナウイルス感染拡大等の状況が確認された場合には、当該施設を臨時休館する場合があります。

## ◆ 利用中に体調不良者が出た場合の対応 ◆

- 速やかに団体代表者は管理事務室へ体調不良者の状況を報告してください。
- 新型コロナウイルス感染の疑いがある場合には活動を中止し、保健所等へ連絡してください。及び、施設管理者の指示に従ってください。
- 新型コロナウイルスへの感染が確定した場合には、濃厚接触者を特定するための保健所の聞き取りに協力するとともに、その指示に従ってください。  
なお、その際は速やかに当該施設の全部を臨時休館します。施設の再開についてはあらためて決定します。

## ◆ 利用後2週間の間に感染発覚または濃厚接触者と特定された場合の対応 ◆

- 速やかに団体代表者は管理事務室へ体調不良者の状況を報告してください。
- 新型コロナウイルスへの感染が確定した場合には、濃厚接触者を特定するための保健所の聞き取りに協力するとともに、その指示に従ってください。  
なお、その際は速やかに期間中使用した他団体への連絡を行うとともに、当該施設の全部を臨時休館します。施設の再開についてはあらためて決定します。

※ 新型コロナウイルスの感染を疑う症状とは  
37.5℃前後の発熱、のどの痛み、せき、呼吸が苦しい、鼻水、だるさ、においや味がしない

だれもが健やかに  
安心して暮らすことができる  
まちづくりを  
ともに